

春時雨と一羽のすずめ

寒く、ながいながい冬をこえ
岩のようにかたくなった樹々の樹皮を
今朝の雨は

やわらかくほぐしてくれます
枯れ葉や、もう動けなくなつた
小さなものたちの眠る蒼い土も
ゆつくりと、ほぐしてくれます
樹のなかからも、土からも
やがて

あたらしいのちが芽ばえ
春の風にのつて、そつと漂うのです

ぼくのお母さんは
この樹の根もとで眠っています
ぼくはまた、お母さんに
逢えるでしょうか

すずめさん、
春のあたたかい雨は
みんなに降りそそぎます
お母さんも、きつと

陽光にながれる風にのつて
すずめはちゅんちゅんと
うれしそうに鳴きました